

# 東京外国語大学留学生支援の会会報

第10号 2002年5月26日

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 東京外国語大学内  
Tel : 042-330-5183 東京外国語大学 留学生課 (梅田) Fax: 042-330-5189  
E-mail: ZXD06347@nifty.ne.jp URL : http://www.tufs.ac.jp/common/is/shienhome/

## 1. 平成14年度の事業計画

今年度の事業計画が決定いたしました。詳細及び、昨年度の事業・収支報告につきましては、別添資料をご覧ください。また、会則を以下のように変更いたしました。

ご意見、ご質問等がございましたら、どうぞ当会までお寄せください。

### 会則の変更

従来、一般会員の会費は3,000円、賛助会員の会費は1口2,000円となっておりましたが、賛助会員については、これを1口20,000円に改め、また名称を協賛会員に変更しました。これは、今後多くの団体や企業にも協賛会員になっていただき、当会の収入増を計り、留学生支援事業をさらに充実したいと考えたからです。

なお、今まで賛助会員におなりいただいていた方には、従来通りの会費で継続していただくことになっております。

以上についてご理解をいただきたく、よろしくお願いたします。

### 神田ライオンズクラブからの寄付金の使途

50万円という当会にとりましては多額なご寄付を、ぜひ有効に使わせていただきたいと思います。幹事会での話し合いの結果、一般会計とは別枠扱いとし、緊急貸付基金(仮称)という名目で、留学生の緊急な出費に一時的な支援をする、またはそれを継続するという案が出されております。留学生からもそうした要求が高いつことを実感しています。

約8割が私費留学生という現状のなかで、できれば当会の奨学金として使用したいのですが、会計報告をごらんくだされば分かりますように、いまだその段階に至っておりません。

会員の皆様のお考えをお聞かせください。それを参考にさせていただきながら、幹事会で再検討、実行に移していきたいと考えています。

### ご寄付をありがとうございました

- ・ 神田ライオンズクラブ様 500,000円

当会会員の桃沢敏幸様(モンゴル語学科昭和41年卒、元神田ライオンズクラブ会員)が橋渡しをしてくださり、ご自身の15万円のご寄付を加えまして、神田ライオンズクラブ様より50万円をいただきました。

5月21日の神田ライオンズクラブ月例会に、当会会長の中嶋洋子と留学生2名が招待され、ご寄付をいただきました。桃沢様の当会に対するご理解・ご協力と神田ライオンズクラブの皆様にご心から感謝申し上げます。

- ・ 東外大日本課程の学生さん 13,871円

昨年の外語祭で、東外大日本課程の学生さんたちが留学生のために募金活動を行い、それを当会に寄付していただきました。そのお金でよろずコーナーの入口に置く席札用の木製の台を購入しました。書道の達人、留学生課の梅田さんがこの台に当会の名称を書いてくださいました。

## 2. 留学生よろずコーナー

4月からよろずコーナーで新しい活動を始めました。会場の和室を「俳句コーナー」、「将棋コーナー」、「華道コーナー」、「欲談・相談コーナー」に分け、俳句、将棋、華道は幹事が講師を務め、同好会のような形で進めています。

最近では毎回40名くらいの留学生がよろずコーナーにやってきて、お弁当を食べたりしながら、にぎやかにすごしています。

また、1ページにありますように、日本課程の学生さん、留学生課の梅田さんのご協力です。立派な席札が出来上がりました。

## 3. ブックバザー&ティーパーティー

### — 本をご提供下さい —

今回は、6月28日(金)12:00~14:00です。場所は、東外大研究講義棟2Fバルコニーです。

本をご提供頂ける場合は、6月27日までに「ブックバザー用」と明記の上、留学生課までお送り下さい。なお、送料はご負担いただけますようお願い申し上げます。

ブックバザーの後は、同じ場所で留学生とのティーパーティーを開催します。

すでに何度も開催しているバザーですが、だんだんと集まる本の数が減ってきています。留学生のためにとても役立っているバザーですので、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 4. お知らせ

### 平成14年度版チラシ完成

同封しましたように、新しいチラシが出来上がりました。クラス会などでの配布にご協力ください。

### 外語会会報95号をお楽しみに

外語会(東外大の同窓会)の会報の次号、95号で当会の活動が紹介される予定です。幹事会やよろずコーナーの際に取材を受けました。卒業生の皆さん、どうぞお楽しみに。

## 5. 幹事会

平成13年度第7回幹事会	1月27日(日)
平成13年度第8回幹事会	2月17日(日)
平成13年度第9回幹事会	3月24日(日)
平成14年度第1回幹事会	4月21日(日)
平成14年度第2回幹事会	5月26日(日)

### 大切なお知らせ…会員継続のお願い

4月より新年度を迎え、会員の皆様には、本年度も引き続き会員としてご支援いただきたく、本年度会費(一般会員:3千円 協賛会員(旧賛助会員—ご継続の場合):一口2千円)を同封の振替用紙にてお振込みいただけますよう、お願いいたします。

(すでにお振込みいただいている場合は、失礼をお詫び申し上げます)

郵便振替 00130-3-192674  
名義 東京外国語大学留学生支援の会

# 東京外国語大学留学生支援の会会報

第 11 号 2002 年 10 月 18 日

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学内

Tel : 042-330-5183 東京外国語大学 留学生課 (梅田) Fax: 042-330-5189

E-mail: ZXD06347@nifty.ne.jp URL : <http://www.tufs.ac.jp/common/is/shienhome/>

## 1. 本年度の活動中間報告

日に日に涼しくなって参りました。会員の皆様、いかがお過ごしですか。

さて、当会の今年度の活動も後半期に入りました。中間報告を兼ねてご了承、またご理解をいただきたく、次の 4 点に関してお知らせいたします。

### 会則の変更

前号でお知らせしましたように、一般会員 (年会費 3,000 円)、協賛会員 (年会費 20,000 円、ただし従来の賛助会員のみそのまま、年会費 2,000 円) という会員組織改変について、ただいままで皆様のご意見をお待ちしておりましたものの、特別なご異議もありませんでしたので、正式にこの方式で進めさせていただきます。

なお、団体や企業などに協賛会員をお願いする予定でありますが、不況の折からか、今のところ、まだ実現に至っておりません。私ども幹事の努力不足は明白ですが、それぞれ仕事を持つボランティアゆえ、まだ時間がかかりそうです。皆様がお力を貸してくだされば幸いです。

### 寄付金の使途

神田ライオンズクラブからの寄付金 (50 万円) を緊急貸付基金として、留学生の緊急な出費に一時的な支援をする、という原則を前号会報でお知らせしましたが、特に反対のご意見もありませんでしたので、この方向で継続させていただきます。

また、当会設立の呼び掛け人でもある、東外大の中嶋嶺雄前学長からも 100 万円をご寄付い

ただきました。

こうして寄付金 150 万円を基に、すでに 4 人の留学生に用立てています。この 10 月はまた、授業料 (後期)、後期入学生の入学金納入等の時期であり、支払いに困る留学生もいるようです。有効に使わせていただきます。

なお、問題が二つあります。一つは、期限までに (一応半年としています) はたして返済できるかという不安があり、基金が目減りしていくのではという心配があることです。生活費を土日などのアルバイトから捻出しているうえに、返済金をさらに稼ぐというのは大変のようです。さらにもう一つの問題点は、この制度に留学生が殺到し、生活費の補助に使ってしまうのではないかと心配で、その場合、返済が極めて難しいということです。

会員の皆様のよいお知恵を貸してください。

### うれしいお知らせ — 会員数の激増について

7 月に発行された東外大の同窓会の会報、『東京外国語会会報』95 号の特集「東京外大に学ぶ留学生」の中で、当会の活動が紹介されました。そのおかげで、多くの卒業生に入会いただき、会員数が 258 名から、なんと 548 名に激増しました。

新入会員の皆様、ご入会ありがとうございます。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

なお、新入会員の方々の中で、当会を東京外国語会の組織と誤解されている方もいるようですので、当会についてご説明しておきます。

- ・ 当会は外語会とは別の、独立した団体です。
- ・ 当会は東外大の留学生のための支援と交流を目的とし、その活動趣旨に賛同した有志が参加する任意団体です。趣旨に賛同する方なら、誰でも参加できます。会員、幹事など、東外大の卒業生、教職員が多いのですが、大学近辺の住民の方々や、卒業生・在校生の家族の方々も参加しています。特に、留学生の生活面での支援に関して、近隣の方々の参加が不可欠であると考えています。

### ブックバザー — 大盛況でした

6月28日に開催した恒例のブックバザーは、200人を超える留学生が訪れ、大盛況でした。今回は会員、教職員だけでなく、大学周辺の町内会など、ご近所の方々のご協力が大きく、8,000冊ほどの本が集まりました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

## **2. バザーにご協力を！**

11月23日（土）（外語祭期間中）に留学生のためのバザーを東外大で開催します。日用品、寝具、タオル、家電製品、自転車、机、衣料品（新品同様のもの）、米など保存の利く食品、本、CDなどのご提供をお願いいたします。

ご提供いただける場合は11月20日までに、下記までお送りください。なお、送料はご負担いただけますよう、お願いいたします。

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
東京外国語大学 留学生課（大武）  
Tel 042-330-5185

## **3. 懇親会にご参加を！**

11月1日（金）午後6時から8時、大学生協1階にて、懇親会を開催します。当会の活動紹介、会員と留学生、留学生と日本人学生、留学生同士の交流のための懇親会です。

参加費は無料です。（カンパ大歓迎です）

## **4. 幹事会**

平成14年度第3回幹事会 6月30日（日）

平成14年度第4回幹事会 9月8日（日）

平成14年度第5回幹事会 10月5日（土）

### **☆☆☆ 会員投稿 ☆☆☆**

留学生のホームヴィジットを受け入れてくださった会員の西原さんが、体験記を投稿してくださいました。

#### 西原美智子さん（会員 新潟県）

私たちは8月14日から18日まで、短期留学生3人を迎えることにしました。その期間、あいにく夫は不在。いろいろ考えるとキリがなかったのですが、新潟県の小さな町まで足を運んでくれるという思いがけない話でした。

3人はJRの「青春18きっぷ」を使つての各駅電車の旅です。早朝に東京を出て、長岡駅に着いたのは夕方。皆疲れた様子も見せずに人なつっこそうな笑顔を見せてくれました。日本語も達者です。和食も大丈夫みたい。寝る部屋は仏間へ3人で布団を敷いてもらい、修学旅行のように和気あいあいと過ごしているのを見て、内心ほっとしたものです。

ブラジル人のタチアナ。彼女は表情豊かで楽しい人です。旅の達人でもあり、旅の秘訣を教えてもらいました。またワールドカップでは、意外にも、多くの日本人のように、にわかサッカーファンになったとか。タチアナは18日、他の二人と別れ、一人で北海道へ青春18きっぷの旅を続けました。日本語スピーチコンテストに出場するためです。優秀賞をおみやげに、3週間後、再び我家を訪れてくれました。

ウズベキスタン人のアンナ。日本語がとてもうまく、見た目からも日本人では？と錯覚しそうでした。学校教育は日本以上に厳しそうに聞こえましたが、羨ましいことに多くの人は週末に別荘に出かけ、のんびりしているとのこと。

# 東京外国語大学留学生支援の会会報

第 12 号 2003 年 2 月 25 日

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学内

Tel : 042-330-5183 東京外国語大学 留学生課 (梅田) Fax: 042-330-5189

E-mail: ZXD06347@nifty.ne.jp URL : <http://www.tufs.ac.jp/common/is/shienhome/>

本年度も残りわずかとなり、幹事会では来年度に向けて、大幅な会員増に伴う会費収入の有効活用を含め、事業計画の策定を行っています。次号 (6 月初旬発行予定) で、平成 14 年度の事業・収支報告、平成 15 年度の事業計画・予算案をお知らせします。

## 1. 慢性的な問題—人手不足

平成 11 年 6 月の設立以来、東外大の教職員の方々、特に留学生課の職員の方々の多大なご協力を得ながら、会長、副会長、幹事が中心となって当会の運営を行っています。現在の幹事は 8 人で、入れ代わりはあるものの、この人数は設立以来、ほとんど変わっていません。

年を追うごとに活動の幅も広がってきているのですが、その反面、慢性的な人手不足問題はなかなか解決できません。幹事は全員が有志のボランティアです。仕事や家事などを抱えつつ、何とかやりくりをしているというのが実情です。

このままでは、人手不足が今後の活動拡大の足枷ともなりかねません。作業の効率化を図る一方で、収入増に伴い、一部の作業を外注に出すなどしていますが、人手不足の根本的な解消にはなりません。

会員の皆さん、当会の運営に参加してみませんか。幹事をやってみようという意欲のある方、また、幹事は無理だけれど、時間のあるときにちょっと手伝ってみようという方、行事や「留学生よろずコーナー」を手伝ってみたい方、自分のスキルを留学生のために役立ててみたい方など、どうぞお気軽にお問い合わせください。

なお特に人手が不足しているのが、パソコンを使う作業です。ワードやエクセルが使える方、会報やパンフレット、イベントのチラシ作成、

ホームページ作成などができる方、いっしょに活動してみませんか。遠方の方でも、E メールをお使いでしたら、こうした作業に参加していただくことも可能です。

もちろん、「自分はこれといったスキルはないけれど」という方も、心配はいりません。意欲のある方なら大歓迎です。

また、活動に関するご意見、ご助言、また留学生に役立つ情報もぜひお寄せください。ホームページ受け入れの体験談や留学生にまつわるエッセイなど、会報への投稿もお待ちしています。

## 2. 活動報告

### 2-1 懇親会 (11 月 1 日)

当会として会員と留学生とが交流する活動の中で、最大の機会である年に一度の懇親会 (留学生との交流会) を、今年は 11 月 1 日 (金) 午後 6 時から大学の学生会館 (生協) 1 階で開催しました。

従来は 11 月下旬の外語祭期間中に、バザー、写真コンテストに引き続いて開催していました。しかし、留学生にとって生活は依然として厳しく、外語祭の時期は授業がないので、まとめてアルバイトをせざるをえないという状況もあり、せっかくのチャンスを利用できない留学生もいますので、かえって普通に授業が行われている日の午後がいいのではないかと考えました。さらに、ISEP\*の留学生が新しく入学してやや落ち着き、生活設定のできたであろう上記のような日時を設定してみました。

予想通り、当日は大盛況でした。毎年 200 名前後の参加でしたが、本年は開始時刻の 6 時をややまわった頃から、留学生や日本人学生（日本人学生と留学生との交流も懇親会の目的の一つです）が続々とつめかけ、その数 300～350 名となりました。会員の方々、地域の方々も、45 名も参加して下さいました。

当日は、中嶋当会会長、池端学長の挨拶から始まりましたが、留学生たちの熱気にあおられ、なかなか思うように進まないほどでした。地域の代表の方、留学生代表の挨拶に続き、乾杯を行い、ささやかでしたが、生協の方々のお心のこもった料理に舌つづみをうちました、とご報告したいところですが、なにしろ毎年の例にらひ、そして限られた予算ですので、200 名分の料理と飲み物しか用意していなかったのも、あっという間に、なくなってしまいました。しかし、学生たちはそれでもほとんどが帰る様子もなく、いよいよパフォーマンスを楽しむ時間です。

- ・ 日本舞踊・三味線演奏（地域の文化活動の講師の方々による）
- ・ ベトナム楽器演奏
- ・ ブルガリア・フォークダンス
- ・ アイリッシュダンス
- ・ サンバ
- ・ ラオスの民族舞踊
- ・ ISEP の学生たちの歌とダンスと楽器演奏

このように東外大ならではのパフォーマンスが次から次へと続き、しだいに盛り上がり、指導教官の岡田先生の若々しい見事な誘導で、見学の学生たちもおもわず大きな輪になり、一緒に「踊りゃな、そんな！」とあいなりました。にぎやかな様子をご想像ください。

この交流会が、大学生とはいえ、異国にあって、あるいは孤独に、あるいは経済的な苦勞を抱えながら勉強に励んでいる留学生にとって、いつときのやすらぎの場であったなら、幹事一同、この上もない喜びです。

これも日ごろより会員の皆様の陰ながらのご支援あつての賜物と、心より感謝致します。おかげさまで、外語会（東外大の同窓会）のご協力により、会員数が従来の 3 倍に増え、来年の懇親会は予算を増加させて、より楽しい会にし

ていきたいと考えています。良いアイディア、アドバイスなどありましたら、お寄せください。また、多くの会員の方がご参加くださり、学生との交流を深めていただければ、うれしく思います。

#### \* ISEP

東京外国語大学国際教育プログラム (International Student Exchange Program of Tokyo University of Foreign Studies・ISEPTUFS) は、日本理解、国際理解、日本語からなる共通プログラムと留学生各自の専門分野に応じた専門プログラムから構成される、1 年間の教育プログラムで、入学は 4 月と 10 月。東外大と大学間協定を締結している大学に在籍している学生を、毎年約 40 名受け入れている。

### 2-2 留学生支援バザー (11 月 23 日)

会員の皆さんや大学のご近所の皆さんから寄付して頂いた物品を販売し、今回も大好評でした。外語祭の見学に来られた一般の方々にも、留学生の倍額で販売しました。留学生も準備や販売の手伝いをしてくれました。売り上げとカンパの計 15 万円は、今後の活動で有効に使わせて頂きます。

### 2-3 留学生フォトコンテスト (11 月 23 日)

留学生 10 名（出身地は中国、韓国、台湾、ラオス、ブルガリア）の合計 29 作品を展示しました。外語祭の見学に来られた方々に投票して頂き、450 票の投票がありました。1 位（1 名）、2 位（2 名）、3 位（3 名）までの入賞者には賞状と副賞（図書カード）、参加者全員に参加賞（ユニセフのダイアリーとグリーティング・カード）を授与しました。

入賞 6 作品は、大学生協掲示板に 1 年間展示します。大学へお越しの際には、ぜひご覧ください。

1 位「紅葉に負けないーすばらしいぞ」

趙 妮さん（中国、日本課程 3 年）

2 位「もみじ（箱根の印象）」

アッカラーチ・ヴァンタダーサイさん  
（ラオス、留学生日本語教育センター）

- 2位「芸たま（芸術家のたまごたち）」  
王 思羽さん（中国、日本課程3年）  
3位「日本一の日の出ー富士山頂より」  
柳 悦さん（中国、日本課程3年）  
3位「秋の清水寺」  
鐘 人雋さん（中国、日本課程3年）  
3位「さすがの金閣寺」  
張 盛開さん（中国、日本課程3年）

## 2-4 外語会総会での説明（11月30日）

外語会の総会にて、当会の活動説明を行いました。留学生も参加して、支援の必要を訴え、入会の勧誘を行いました。

## 2-5 学長主催 国際文化事業（12月18日）

東外大では学長主催で、12月18日（水）に府中新キャンパスを会場に、多彩な国際文化事業を行い、当会も参加しました。

1日を午前、午後、夜と3部に分け、午前中は、府中市白糸台小学校の生徒100名を対象に6カ国の留学生が、それぞれ工夫を凝らして自国の文化紹介をし、その後生徒たちの熱心な質問に答えているうちに、予定の時間は瞬く間に過ぎてしまいました。閉会の言葉と共に、留学生たちは生徒たちの握手責めにあい、生徒たちは別れを惜しんで帰っていきました。

午後は、武蔵野市国際交流協会、府中市生活文化部と当会の後援のもとに、留学生が日本の伝統文化に接し理解を深めるための文化交流会をもちました。そこでは、着物の着付け、茶道、墨絵、囲碁将棋、華道、折り紙など盛りだくさんの体験コーナーが設置され、多くの留学生が日本文化を体験しました。特に初めて振り袖を着せてもらった留学生は、満面の笑みを浮かべてカメラに向かってポーズをとっていました。ボランティアの方々（当会からも幹事が参加しました）の心からの協力に、留学生も感謝していました。

夜は、「国際交流の集い」が当会の援助も受けて開催されました。日頃留学生がお世話になっている奨学財団や支援団体の方々にも参加頂き、教職員、日本人学生も加わり、交流の輪を広げました。アトラクションの部では、府中市立矢崎小学校の子供たちのすばらしい和太鼓演奏の後、留学生たちがそれぞれ自慢の歌や踊りを披

露しました。総勢400名が参加し、とても楽しく、有意義な国際交流の1日でした。

## 2-6 大相撲見学会（1月26日）

留学生60名（大学・40名、留学生日本語教育センター・20名）が大挙して大相撲初場所千秋楽を見学しました。このような見学会は当会としても初の行事です。

事前から大変な人気で、申し込みが殺到し、キャンセル待ちも大勢出るほどでした。いつもの行事の例ですと、数名はかならずキャンセルが出るのですが、今回は待機者にチケットが回することは全くありませんでした。朝青龍の二場所連続優勝と横綱昇進がかかっていた場所とあってか、モンゴルからの留学生が10名も参加しました。そのうち3名は、モンゴルのきらびやかな民族衣装で現れました。あのいでたちで街を歩くのは少々勇気がいると思われますが、この時ばかりは敢えて自信を持って自国をアピールしたかったのではないのでしょうか？ 両国駅で一緒に写真を取らせて欲しいと声をかけられ、どうしてそんなに日本語が上手なのかとも聞かれ、東外大で学んでいることを話したそうです。彼らはとても誇らしげに見えました。国旗と、モンゴル文字の紙製の垂れ幕を持ち、一致団結して大きな声で声援していました。

一方、韓国の留学生たちも韓国の力士に声援を送り、勝った時には大歓声が沸きました。

そんな留学生たちの大声援に刺激されたのか、留学生たちと同じ横並びの席にいた日本の若者たちの一団が、声をそろえて、なんとこう叫んだのです。「タカミザカリ（高見盛）、ニッポン！」チャチャチャ！（手拍子）。サッカーのワールド・カップの時の声援のようでした。

相撲界の国際化とはこのことなのかと感じいり、同時に若者たちが今日のようにさわやかな愛国心を持ちつづけて欲しいと思いました。

こうして幕の内弁当（まさに！）に舌つづみをうちつつの相撲見学は、引率した幹事一同にとっても、発見の多い楽しいひとときとなりました。

以下に参加した留学生の一口感想を紹介します。（日本語がまだ充分に書けない留学生もいるので、原文を尊重しつつ、一部訂正・加筆してあります）



#### モンゴルからの留学生

朝青龍が二場所連続優勝を果たし、日本相撲の横綱に昇進した。この瞬間、モンゴル民族の一員として私も非常に感動させられ、同じ国技として扱われる我々のモンゴル相撲（ウジムチンプフを含む）が、なんでこのように盛んになることができないのか？ 私の故郷でも毎年のナードムでウジムチンプフが盛んであるといっても、日本相撲のようにプロ化して国際化の道を歩んでいないのは事実である。これは経済が原因だという方が多いと思うのですが、経済であれ、文化（相撲も文化現象の一つである）であれ、発展させるには人々の知恵と努力が必要である。知恵というものも努力でだんだん獲得するものとみれば、我々は本当の努力が足りないという結果になるのではないか。ただ朝青龍の成功を喜ぶだけでなく（喜べることはうれしいが）、このようなほかのことも考えないといけないのではないか、というのが私の 2003 年 1 月 26 日両国国技館の感想であります。

#### モンゴルからの留学生

日本の伝統的な文化のすばらしさを感じとった。将来の思い出になるよい経験をした。ところが各級の優勝した力士たちの国籍から、日本の相撲にも多国籍化が進んでいるということがわかった。特にモンゴルの数多くの力士が活躍していることを見て、たいへんうれしかった。これからも彼らががんばって、日本とモンゴルの交流のかけ橋になることを願っています。

#### 韓国からの留学生

相撲は韓国でもケーブル TV でよく見ていた。しかし、実際に観覧して、迫力があつた。テレビで見るときは「相撲は単純なゲームだ」と思っていたが、相撲は高い技術とバランス（？）がいるゲームだと思った。ゲームはもちろんおもしろかったが、始まる前の歌みたいな解説が最もおもしろかった。さらに、韓国人選手が勝ってうれしかった。

#### 中国からの留学生

勝負は一瞬であり、桜の花が落ちるように巨大な身体が倒れ、日が沈むがごとし。勝者におめでとうと言いたいし、負けた者も尊敬すべき。

#### 中国（香港）からの留学生

相撲を見るのは初めてです。ルールがあまりわからないけど、おもしろかった。力士たちはとても強いです。現場で見るととても刺激的です。今日は楽しかった。

#### カナダからの留学生

相撲はいつもテレビで見ているんですけど、生で見るとやっぱり違う。みんなすごく盛り上がった。席は遠かったけれど最高だった。

### 3. これからの活動

#### 鎌倉見学会へのお誘い

恒例の鎌倉見学会ですが、今年は 3 月 16 日（日）に開催します。留学生といっしょに、春の鎌倉を散策してみませんか？

参加をご希望の方は、3 月 10 日（月）までにお申し込みください。集合場所は品川駅、費用は 2500 円くらいを予定しています。

### 4. 幹事会

平成 14 年度第 6 回幹事会 11 月 17 日（日）  
平成 14 年度第 7 回幹事会 1 月 11 日（土）  
平成 14 年度第 8 回幹事会 2 月 9 日（日）

#### **☆☆☆ 募 集 中 ☆☆☆**

活動・運営のボランティア  
を募集しています！

会報への投稿を  
お待ちしております！